



Go! Cats

人にも猫にも

猫新聞

郵便振込口座：
00830-2-204941 Go!Cats
ホームページ：
<http://go-cats.main.jp/index.html>

Go! Cats は浜松市を中心に、飼い猫・野良猫の不妊手術推進、猫の譲渡会開催などの活動をしています

ワタクシただいま発情中〜♡♡♡

センセーショナルなタイトルでビックリとなさったでしょうか——猫の世界の話です。「猫は季節繁殖動物であるため、日照時間がのびると下垂体前葉が刺激され発情を起こす」のだそうで、日照時間が12～14時間を超える1月半ば頃から発情が始まっています。

家の周りからワオ～ワオ～と発情期特有のメス猫の甲高い鳴き声が聞こえてきませんか？

メス猫の取り合いをするオス同士のケンカの声で眠りを破られることはありませんか？

庭先などでエサを与えているメス猫の後ろをオス猫がストーカーのようについて歩いていたら警戒警報発令です。オス猫を必死に追い払っても何の役にも立ちません。

もし、このまま手術をしなかったら…とを考えてみてください。健康な猫なら発情がおさまった時にはまず妊娠していますから2ヶ月後には出産です。しばらくは安全な場所に隠れて子育てをし、4月～5月頃ヨチヨチ歩きの子猫を5匹も6匹も連れてくることでしょう。

メス猫が2匹いれば一気に9匹にも10匹にも増えてしまいます。そうなってから頭を抱えても間に合いません。何匹もの子猫の里親探しは実は大変です。手元に残ってしまうかも知れません。そして半年後には親子で産んで…その半年後には親と子と孫みんなで産んで…そのまた半年後には…… ネコ算恐るべし！

本当に手に負えない状態になってしまいます。あなたの優しさが逆に猫を苦しめたり、死に追いやったりする事にもなりかねません。手術費用の捻出は大変かも知れませんが、ご近所への迷惑、寄せられる苦情、増えるエサ代、里親探しの苦労、精神的な負担等も考えたらやはり「産ませないこと、増やさないこと」がベストの選択になるのではないのでしょうか。

Go! Cats では昨年に続き今年もノラ猫の

不妊手術助成キャンペーンを実施しています。

期間中は手術助成金をメス6000円、オス4000円に増額。協力してくださる病院もご紹介しますし、捕獲の方法などもアドバイスいたします。適用条件がありますのでまずは事務局にお問い合わせ下さい。

ご近所やお知り合いでノラ猫の手術をお考えの方がいたら、このキャンペーンのことお話しください。

(今回のキャンペーンは6月30日までの予定ですが、予算がなくなり次第終了いたします)

動物愛護管理法

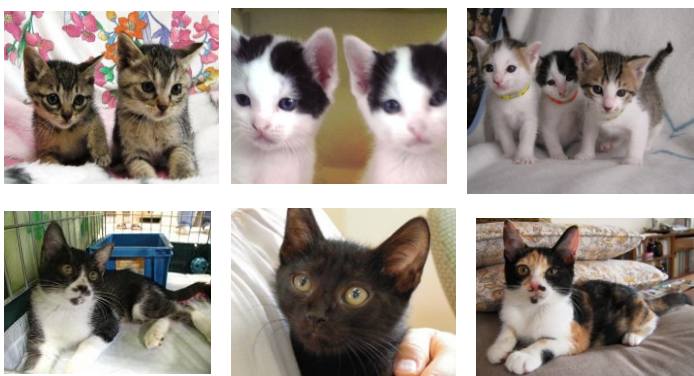
第六章罰則 第四十四条3項/愛護動物を遺棄した者は50万円以下の罰金に処する。

【第4項 愛護動物とは1. 牛、馬、豚、やぎ、犬、猫、家うさぎ、鶏、家鳩など 2. 人が占有している動物で哺乳類、鳥類又は爬虫類】

捨てた人(違法行為)を目撃した方は最寄の警察署、交番に通報してください。

私たち幸せになりました

145匹の仲間を代表してお礼もーしあげます！



「みんな幸せになってほしい！」と願って開く

「仔猫・若猫譲る会」

第1日曜日： ペット愛ランド早出町店2F
(早出町 11:00～15:00)

第2土曜日： 熊平動物病院
(半田山5丁目 12:30～15:30)

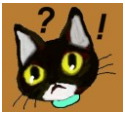
第3日曜日： ペット愛ランド志都呂店2F
(志都呂町 11:00～15:00)

第4日曜日： 西山会館 (西山町 13:00～16:00)

猫を飼いたい方、猫を抱きたい方、どうぞお出かけ下さい。

毎月第4土曜日には、遠鉄百貨店正面玄関前にて「小さな命について考えるパネル展」を行っています。

※譲る会もパネル展も、場所や日時を変更することがあります。



キャットQ&A

Q:生後4ヶ月のメス。外には出しませんが、避妊手術は必要ですか？

A: 4ヶ月というとまだまだ子猫のようですが、早い子は初めての発情期を迎えます。手術をせずいたら、ある日突然、身をよじるようにして甘えたり、頭や体を人や家具にこすりつけたり、大きな声で鳴きながら家中を歩き回ったりといった「異常」な行動が始まります。発情は数日続き、一旦治まってもその後何回か繰り返されます。猫も可愛そうですし、その間猫の行動に付き合わされたり、鳴き声で夜寝られなかったりであなたもまいってしまうかも知れません。

また、発情中のメス猫はオスを求めて外に出たがりしますので、ちょっとしたスキに家を抜け出して、気づいた時には出産間近というようなことにもなりかねません。

仔猫を望んでいないのなら、また、生まれてくる子猫たちの行く末に責任が持てないのなら飼い主の責任として避妊手術を受けさせてください。避妊手術は猫の健康を守るためにも必要なことです。子宮蓄膿症、乳ガンなどの病気を防ぎ、発情による大きなストレスからも解放してあげることができます。

猫の健康を守るために、猫と楽しく暮らすために、そして不幸なネコの誕生を防ぐために、是非避妊手術を受けさせてください。方法や時期などは動物病院で獣医師と十分に相談してください。

あなたは毛皮を着ますか？

「毛皮なんて高く買えないよ！」という人、よ〜く身の回りを見てください。フードや襟元、バッグやアクセサリー、小物などに付いていませんか、“ファー”と呼ばれているもの。それも、“本物の毛皮”です。

なぜこんなにお手軽な値段で手に入るようになったか・・・それは、中国などの毛皮工場が毛皮を大量生産されているから、そして、日本はその毛皮を大量輸入しているからです。毛皮工場ではウサギやタヌキ、キツネなどが繁殖され、生まれた時から暖房装置もない狭い檻の中で、汚物にまみれて一生を過ごします。

生きるのに必要なものを全て奪われ、孤独とストレスに耐えきれず、気が狂ってしまう動物達がたくさんいます。

そして、毛皮にされるその時は、死を意味します。毛皮を無傷で搾取するために、首の骨をへし折られるウサギ、肛門や生殖器から電気を流されるキツネ、口と鼻を筒でふさがれ窒息させられるミンク...中には、意識がある中で毛皮を剥がされることもあるのです。

野生動物たちは罠で捕らえられ、逃げようとしてもがき苦しみ、怪我と飢えにあえぎながら死んでいきます。

あなたが買うファーのために、動物たちが苦しんでいます。あなたがファーを買わないことで、動物たちの苦しみは終わります。この事実を知り、多くの人々がファーを身につけることをやめています。

さあ、あなたも今日からファーを買うことをやめましょう！そして、真の美しさを手に入れてください。

【参考：毛皮とサヨナラ/JAVA NEWS No.80~84 (発行：NPO 法人 JAVA)】

2009年活動報告・収支報告

活動報告

のら猫の不妊手術助成：動物病院に御協力をいただきながら204匹(メス131匹、オス73匹)の猫の避妊・去勢手術に助成金をだすことができました。

捨て猫やのら猫の被害など「猫問題」の解決には不妊手術が何よりも大切。これからも手術の必要性を多くの方に呼びかけていこうと思っています

猫の譲渡：145匹の猫たちを温かいご家庭に送り届けることができました。私たちが保護するのはそのまま放置すれば死んでしまったかも知れない猫ばかりです。皆様のお陰でたくさんの猫が幸せになりました。御礼申し上げます。

パネル展：昨年は13回のパネル展で596,787円の募金を頂き、全額を手術の助成金や治療費として使わせていただきました。

収支報告

収入：寄付、募金など 1,458,960

支出： 1,863,899

△404,939

支出内訳：

不妊手術助成金及び手術代／1,003,292

保護した猫の治療費・フード代／779,872

譲る会運営費／55,415

イベント・キャンペーン経費／12,600

備品・消耗品費等／12,720